
(参考2)
重点地区における取り組み

【札幌】CO2マイナスプロジェクトin SAPPORO

実施範囲図

実施名 :CO2マイナスプロジェクト in SAPPORO
実施主体:国土交通省 北海道開発局 札幌開発建設部
実施範囲:道央圏域(札幌市隣接エリア)



【背景と目的】

対象圏域となっている道央圏域は、北海道の道都札幌を中心として、北海道における経済活動を支える地域であり、道内人口の約4割が居住し、自動車交通の約1/4が集中する地域となっていることから、主に自動車利用者を中心とする市民へ広く地球温暖化防止に向けての理解を促進するとともに、具体的な行動を喚起するため、「エコロード・キャンペーン」を実施します。

【H18年度取り組みの内容】

エコドライブの推進

急加速、急発進、長時間アイドリング等をひかえることが、CO2排出の抑制と温暖化防止へ貢献することについて、ポスターの掲示やパンフレットの配布などにより周知することにより、エコドライブの普及につとめます。
また、エコドライブの励行による燃費の向上や、ゆとりある運転による事故の防止効果等もアピールし、実行に向けた意欲高揚を図ります。

高速道路の利用促進

渋滞がなく、高速かつ安定した速度で走行可能な高速道路を利用することが、CO2の排出を抑制し、温暖化防止に貢献することを周知します。
また、ETCの利用による割引に関して、ポスターなどの掲示により周知につとめます。

札幌都市圏の渋滞対策の取り組み紹介

渋滞対策として行われる道路整備事業によるCO2削減効果の事例を紹介するとともに、渋滞の要因やソフト的な渋滞対策に関しても周知し、計画的で効率的な自動車の利用や、公共交通への転換などを促しCO2削減につなげます。

TDMの推奨と紹介

毎日、自動車を利用する通勤者へ、パークアンドライドによる優遇措置等を紹介し、パークアンドライドの推奨と、実行への意欲高揚を図ります。

ITSの紹介

ETC、VICSなど既に運用されているITS技術に関して、自動車利用時における効率的、経済的な運転への活用事例などを紹介し、CO2削減につなげます。

イベントの開催

道央圏域にあり、一般の利用が多い道の駅「花ロードえにわ」の道路情報館において、エコドライブやETC普及に関するパネル展ならびにパンフレット配布による啓発活動を実施し、一般市民へ広くPRします。

連携協力機関 : 国土交通省 北海道運輸局・北海道・札幌市
東日本高速道路株式会社・財団法人北海道環境財団

その他～地方紙、タウン誌と連携したPR活動を予定しています。

【仙台】みんなで減らそうCO2～杜の都仙台～

取り組み概要

【実施エリア】

仙台都市圏

仙台市、塩竈市、名取市、多賀城市、岩沼市、七ヶ浜町、利府町、大和町、富谷町

【実施主体】

宮城県渋滞対策連絡協議会

(事務局) 国土交通省 東北地方整備局 仙台河川国道事務所

【背景・目的】

日本におけるCO2排出量は、約2割が運輸部門であり、その約9割は自動車によるものです。

仙台都市圏においても、年々増加する自動車交通や都心部を中心とした慢性的な交通渋滞により、多量のCO2が発生しています。地球温暖化を防止するため、温室効果ガスの代表格であるCO2排出量を減らす取り組みを市民の皆様とともに実施していきます。



現状

仙台市の温室効果ガスは、**CO2が約98%**

仙台市のCO2排出量は1990年から1998年にかけて、26%増加。特に**運輸部門は40%も増加**

1990年から1998年の1人あたりCO2排出量の伸び率は、全国平均3%に対して、**仙台市は16%(約5倍)**

出展: 仙台市地球温暖化対策推進計画(H14)

課題

市民1人1人が車の使い方を再考し、CO2削減のために、少しでも行動を起こしていくことが重要です。

CO2削減に向けて、**取り組みや意識を、多くの市民と共有し、それを拡大**していくことが重要です。

取り組み内容

1. エコドライブの普及・促進

アイドリングストップや急発進・急加速を止めるなど、自動車運転時のちょっとした気くばりで、CO2排出量を減らすことができます。

このため、ドライバーや、事業者の皆さんに、「エコドライブ」の普及・促進のため、その取り組みの内容、有用性などについて理解いただくための啓発活動を行います。



2. 高速道路の利用促進

高速かつ安定した速度で走行できる高速道路では、一般道に比べCO2排出量は少なくなります。

このため、ドライバー、事業者に対して、高速道路の積極的な利用を促していきます。



3. 「かしこいクルマの使い方」の普及・促進

バス・地下鉄等の公共交通機関は、自動車に比べ、1人当たりの移動に対するCO2排出量が少なくなります。

このため、仙台市に新たに転入された方等に対して、公共交通機関の利用方法やクルマ利用と環境等との関係を示した情報を提供することにより、公共交通利用等を取り入れた「かしこいクルマの使い方」の普及・促進を図るため、啓発活動を行います。



4. 企業・市民の取り組み拡大

CO2削減効果を高めるためには、1人でも多くの皆さんに参加・協力していただくことが最も重要です。

このため、仙台都市圏において、CO2削減に向けて積極的に取り組んでいる企業・市民の活動内容等を広く紹介し、良い取り組みの活動の輪が拡大することを目指し、より多くの皆さんに、取り組み内容等の啓発活動を行います。



5. 低燃費車の普及・促進

低燃費自動車はCO2排出量も少なくなります。

このため、ドライバー、事業者に対して、低燃費車の普及を促していきます。



【三郷】公共交通利用促進 & エコドライブ・キャンペーン

目的:本キャンペーンは、三郷市内において、公共交通利用促進実証実験やキャンペーンによる自家用車から公共交通への転換、エコドライブキャンペーンによる「かしこい車の使い方」の促進により、CO₂の削減を図るものです。

重点地区:埼玉県三郷市

実施主体:国土交通省北首都国道事務所、三郷市

通勤交通マネジメント(公共交通利用促進)実証実験

ピアラシティ周辺に立地する企業(プロロジス、イトーヨーカドー、スーパービバホーム、ムービックス、ヤマダ電機)の従業員を対象に、通勤交通マネジメントを以下の手順にて実施し、交通混雑緩和、CO₂の削減を図ります。

フェーズ1 通勤経路調査の実施により、各社従業員の通勤交通手段及び通勤距離等の現状を把握。

フェーズ2 企業のトップにCO₂削減の意義について理解を求め、職場内研修等において公共交通利用促進について啓発。

フェーズ3 再度、通勤経路調査を実施、従業員の公共交通利用転換率及びCO₂削減量を算出。

公共交通利用促進キャンペーン

バスマスク、広報、市のHP等を通じ、一般市民向けにCO₂削減・マイカー利用抑制を啓発し、公共交通への利用転換促進を図ります。

エコドライブ・キャンペーン

市主催の産業フェスタや交通安全運動とタイアップし、チラシ配布やクイズ等により、エコドライブの普及・促進、高速道路の利用促進を図ります。また、キャンペーンの実施状況・認識状況の把握のため、三郷市内の運輸業者や一般市民へのアンケートを実施します。

効果の把握

以上の実施効果を把握するため、三郷市内の交通量調査・バス走行調査などを行い、環境負荷低減効果などを算出します。

本調査の実施にあたっては、関係機関(三郷市、関東運輸局、各バス事業者等)と連携を図り、必要に応じて学識経験者の方から助言を頂きながら、進めていきます。



【金沢】ECO - ROADキャンペーンin金沢

【重点地区名】 金沢都市圏(右図 参照)
【実施主体】 石川県道路交通渋滞対策協議会
 [国土交通省金沢河川国道事務所、石川運輸支局、石川県、石川県警、金沢市、中日本高速道路㈱]
【取り組み対象】 金沢市民と都心部への通勤者及び観光客

【概要】

- ・金沢都市圏では石川県の渋滞損失時間の75%を占めています。
- ・増加の一途をたどる自動車利用から、公共交通の利用への促進により、渋滞を解消し、環境負荷軽減を図ります。
- ・公共交通機関の利用を促進させるためには、利用者の意識を変えていくことが必要です。

【取り組み内容】

1. 各種実験を実施し、バスの利用促進を図ります。

- 兼六園周遊バス運行実験
- 環状道路循環バス運行及び乗り継ぎ割引実験
- パーク・アンド・ライド特急バス運行実験



2. 利用者への情報提供により公共交通への転換を促します。

(右図、参照)

- 公共交通機関への乗り換え(パーク・アンド・ライド、バスく～る@紹介)
- 自転車への乗り換え(2006ECOサイクルプロジェクトのCO2削減効果の紹介)

3. 高速道路の利用促進を図ります。

スマートICやETC割引制度の周知により高速道路の利用促進を図ります。

4. エコ・ドライブの普及を図ります。



【金沢都市圏】



【広報チラシ】



【バス広告】



【新潟】ECO - ROADキャンペーンin新潟

- 【重点地区名】 新潟都市圏
- 【実施主体】 国土交通省新潟国道事務所
- 【取り組み対象】 新潟市民と都心部への通勤者及び観光客

【概要】

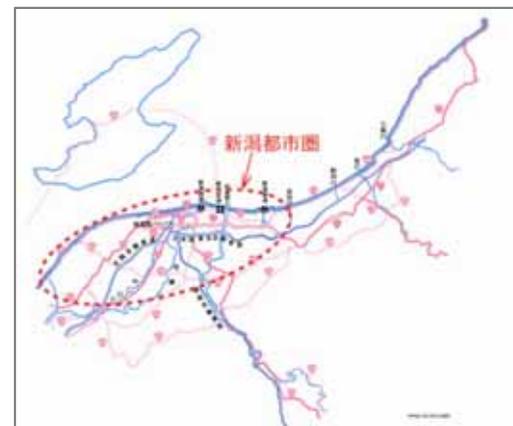
- ・新潟都市圏は、全国交通量ベスト10に3路線がラインクインするほど車利用が多い状況となっています。
- ・「交通量が多い」=「一台一台の小さな努力がCO2排出量の大きな削減につながります」。
- ・公共交通への利用という個々の対応が非常に重要であることを周知させ、CO2削減への意識を変えていくことが重要です。

【取り組み内容】

1. 提供情報の充実を図り、利用者の公共交通への転換を促します。
バスロケーションシステム「にいがたバス-i」の対象エリアを拡大し、バスの利用促進を図ります。
2. 高速道路の利用促進を図ります。
スマートICやETC割引制度の周知による高速道路の利用促進を図ります。
3. エコドライブの普及を図ります。
環境イベント:エコフェスタ06 [H18.11.3. 新潟万代シティにて]
4. 利用者への公共交通への意識向上を図り、公共交通への転換を促します。
 - 1) ラジオスポットを活用し、キャンペーンスローガンである「みちからストップ温暖化」を発信し、広く意識向上・改善を図ります。
 - 2) キャンペーンロゴを活用したステッカーを路線バス社内に掲出し、利用者への周知を図り、CO2削減のため、バスの利用促進を図ります。



【新潟都市圏】



【サンシェード】
デザイン



配布状況(8月4日道路フェスティバル)



【豊田】豊田市交通まちづくりCO2削減プロジェクト

概要・目的

豊田市では、環境負荷の小さい持続可能な「交通モデル都市～人と環境にやさしい先進的な交通まちづくり～」を実現するため、道路整備などのハード施策に合わせ、TDM施策の推進やITS技術を活用したソフト施策を横断的に実施する総合的な交通施策に取り組み、交通におけるエネルギー消費量やCO2排出量の計画的な削減を図っています。この取り組みを推進するためには、エコドライブや高速道路の利用促進など国民・市民との連携が必要であり、エコドライブの体験や実験データを活用した普及啓発を行う取り組みを実施します。



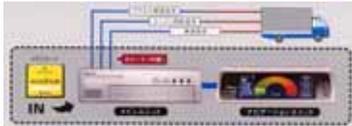
実施主体

国土交通省中部地方整備局、豊田市

実施内容

(1) 事業所モニター実験

物流事業者等を対象にモニター(5台)を募集し、エコドライブ車載器を取り付けて、エコドライブを体験していただくとともに、エコドライブデータを収集します。



エコドライブ車載器(事業所用)



エコドライブ診断

(2) 市民モニター実験

市民を対象にモニター(30台)を募集し、エコドライブ車載器を取り付けて、エコドライブを体験していただくとともに、エコドライブデータを収集します。



市民モニター実験イメージ



エコドライブ診断



資料提供: 独立行政法人環境再生保全機構

(3) エコドライブ効果の測定

エコドライブ実施前後の燃料消費量及びCO2排出量を公開で測定します。

排出ガス計測のイメージ



マフラーへのNOx等センサーの取付例



データ記録装置一式の設置例

(4) エコドライブの評価

モニター(事業者、市民)から得られたデータを解析し、エコドライブを行った場合の燃料及びCO2削減効果を試算するとともに、各種属性の相違による改善効果を比較します。

実験から得られたデータ等は、広く国民・市民への普及・啓発に活用します。

(5) エコドライブ教本(仮称)の作成

実験から得られたエコドライブの効果や評価結果をもとに教本を作成し、エコドライブの普及促進を図ります。

イベント等

(1) 体験試乗会

時期	場所	対象	内容等
9/23～9/24 (実施済)	豊田スタジアム	市民 一般ドライバー	産業フェスタ2006での体験試乗、パネル展示、ちらし配布
11月下旬～ 12月上旬	豊田市内	市民 (公募)	エコドライブ講習会、体験試乗

(2) 普及啓発活動

・普及啓発イベントを開催し、エコドライブの実践、高速道路の利用促進などECO ROADキャンペーンへの参加を呼びかけます。

時期	場所	対象	内容等
11月下旬	東海環状自動車道 鞍ヶ池ハイウェイオアシスを予定	市民 一般ドライバー	体験試乗、パネル展示、ちらし配布

・エコドライブ教本(仮称)を活用した普及啓発を行います。

【京都】CO2削減！エコロード・キャンペーンプロジェクト(京都府)

概要(背景・目的)

- ニュータウンの造成等で世帯数が過去10年で**2割増**

亀岡市 世帯数約35,000世帯 人口約97,000人(府内3位)
H20年度山陰本線複線化開業予定
・京都市へは快速で20分
・JR亀岡駅の1日平均乗降客数は約19,700人/日

- 亀岡市域の国道9号においては、**通勤時に慢性的渋滞**が発生。

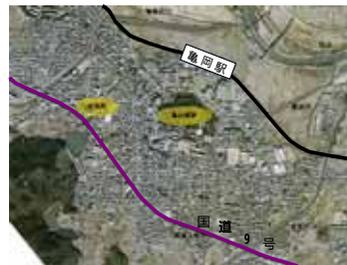
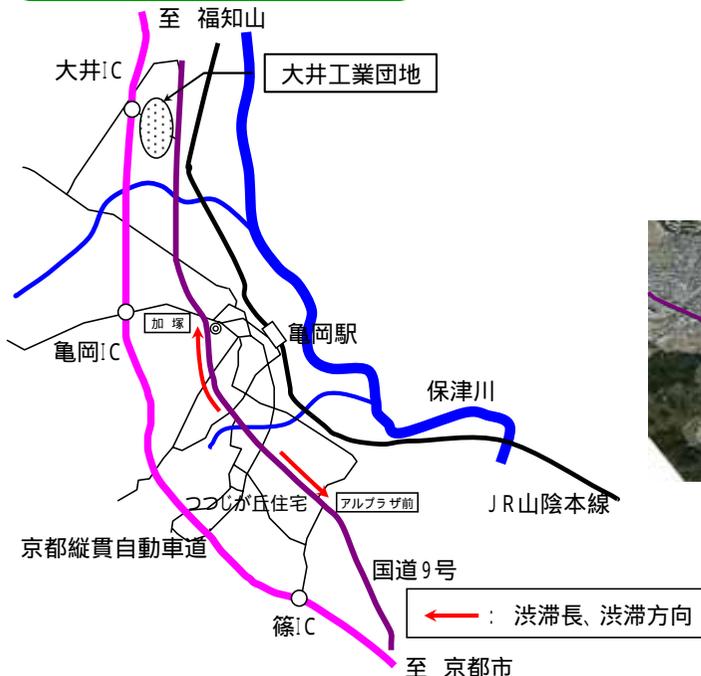
朝の通勤時間帯最大で加塚交差点北行方面:1,450m渋滞
大井工業団地等亀岡以北の**目的地側による渋滞**
アルプラザ前交差点南行:800m渋滞
京都市方面へ通勤する**出発側による渋滞**

交通渋滞に伴う**CO2の排出が増加**

➡ 国道9号の交通流の円滑化を図るため、自動車から排出される**CO2の削減への取組みを実施します。**

対象範囲

京都府亀岡市



実施主体

国土交通省近畿地方整備局京都国道事務所・近畿運輸局・京都府・亀岡市からなる「亀岡地域通勤交通社会実験検討会議」

取組内容

京都府亀岡市の工業団地企業や一般市民を対象に、コミュニケーション・広報活動を通じて、**エコドライブの普及**や**高速道路の利用等の促進**を図り、**CO2削減**を目指します。

- **公共交通利用促進**
公共交通マップを作成・配布し、情報提供することにより、自家用車利用を控え、公共交通の利用を呼びかけます。
- **京都縦貫自動車道の利用促進**
京都縦貫自動車道の利用を促し、一般道の渋滞緩和によりCO2削減に寄与することをPRします。
- **エコドライブの普及促進**
ポスター・パンフレット・ステッカー・マグネットを活用して、**国民へ啓発・情報発信**を行います。



ステッカー



マグネット



【奈良】CO2削減！エコロード・キャンペーンプロジェクト(奈良県)

概要(背景・目的)

- 奈良市中心部(国道24号、369号)では、平日朝夕の通勤時間・休日の観光交通による、慢性的な交通混雑が発生。

国道24号(柏木町 H17.10)

交通量約65000台/日、大混率12.1%、平日混雑度1.17
混雑時平均旅行速度が18.7km/h

国道369号(二条大路南1丁目 H17.10)

交通量約43000台/日、大混率13.3%、平日混雑度1.15
混雑時平均旅行速度が18.5km/h

⇒ 平城京遷都1300年記念事業(2010年)に向け、市内中心部の交通流の円滑化を図り、自動車から排出されるCO2削減への取組みを実施します。

対象範囲

奈良県奈良市



取組内容

奈良市内の一般市民を対象に、コミュニケーション・広報活動を通じて、エコドライブの普及やパークアンドサイクルライド等の促進を図り、CO2削減を目指します。

- 公共交通の利用促進

公共交通マップを作成・配布し、情報提供することにより、自家用車の利用を控え、公共交通の利用を呼びかけます。

【実施主体】

国土交通省近畿地方整備局奈良国道事務所・近畿運輸局・奈良県・奈良市・交通事業者(鉄道・バス)・学識経験者からなる「奈良県公共交通利用促進協議会」

- パークアンドサイクルライド

休日観光による市内中心部のマイカー流入を抑制し、交通混雑を緩和させ、CO2削減を図ります。

【実施主体】

国土交通省奈良国道事務所
奈良県
奈良市



- エコドライブの普及促進

ポスター・パンフレット・ステッカーを活用して、国民へ啓発・情報発信を行います。

環境シンポジウム(H19.1月)
基調講演、パネルディスカッション予定



ステッカー



奈良国道事務所広報誌

[広島]クルマと公共交通のかしこい使い方を考えるプロジェクト・広島

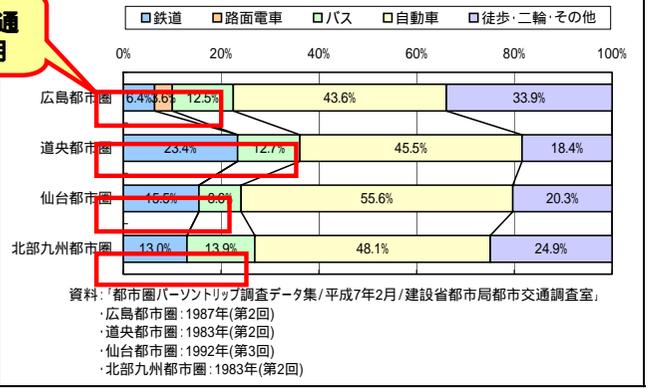
広島都市圏の交通の現状

- ・通勤・通学時に都心部に向けての交通が集中、国道2号や国道54号など、渋滞が発生
- ・特に国道54号は祇園新道(バイパス)や新交通システム(アストラムライン)を整備したにもかかわらず、慢性的な交通渋滞が発生しています。また、公共交通の利用は他都市に比べ利用率が低いため、公共交通への転換を図ることが重要です。

凡例
 → 朝の渋滞方向
 → 夕の渋滞方向



公共交通の利用



【朝ピーク時渋滞状況】

広島市全域の取り組みとして、毎月22日を「乗るまあデー」と称したノーマイカーデーを実施しています。

実施主体：ノーマイカーデーひろしま実行委員会
 (構成メンバー：国土交通省中国地方整備局、広島市、中国運輸局 等)

地区の自治会を通じて、コミュニケーションをとりながら内容を説明し、公共交通機関への転換を図ります。

実施主体：広島都市圏モビリティマネジメント検討会
 (構成メンバー：国土交通省中国地方整備局、中国運輸局、広島市 等)

お母さんのために...

街中の駐車場が足りない...でもクルマがないと、荷物が多いから大変...

お父さんのクルマを借りよう!

お父さんのクルマはお世から会社に置きっぱなしで、お父さんが使わない。お父さんはお父さんだけどうも各クルマを借りよう! 借りたい、お父さんも借り、お父さんがお父さんに公共交通機関を使っている方が、健康にもいいね。

お父さんのために...

バスや鉄道、クルマなど駅まで通い... 隣の駅も考え、家の近くまで乗り換えと聞かないし...

お母さんにバス停まで送り迎えしてもらおう!

お父さんがクルマにあるとお母さんも便利で喜ぶよ。朝のラッシュ時にクルマを運転するのは疲れるし環境にもいいよ。公共交通の方が燃費費用は安いよ。でもクルマをもう1台買ってしまったら、燃費はいいよ。

～クルマの賢い使い方の例～

環境のことを考えると...

クルマと公共交通を比較すると...

1人を1km運ぶのに排出する二酸化炭素の量は、自家用車はバスの約2倍に相当します。

1人を1km運ぶのに排出する二酸化炭素

自家用車	98
乗換バス	94
乗換電車	38
乗換タクシー	27
徒歩	17

テレビに換算すると...

1km自動車の利用を控えることは、テレビを5時間消すことに相当します。

1人を1km運ぶのに排出する二酸化炭素

自家用車	98
テレビ(5時間)	40

排出権に換算すると...

仮に、1,000人の方(弘徳団地のマイカー通勤者に相当)が1年間通してマイカー通勤(例えば往復20km/日)を控えることは、約1,000t-CO2の排出削減となり、約66万円分の排出権に相当します。

これは、中国電力が取り組んでいる「日本温暖化ガス削減基金(JGRF):約3.3億円出資(約10年間分)の年間約50分の1に相当します

樹木に換算すると...

例えば、1人の方が往復20km/日のマイカー通勤を1年間控えれば、約1t-CO2の排出削減となり、約20本の樹木(スギ)の年間CO2吸収量に相当します。

クルマの乗り方を考えないといけない

クルマ利用時のエコドライブや高速道路の利用促進の働きかけも実施

【福山】備後のCO2削減「ベスト運動」

実施主体：福山都市圏交通円滑化総合計画推進委員会(事務局：国土交通省中国地方整備局、広島県、福山市)

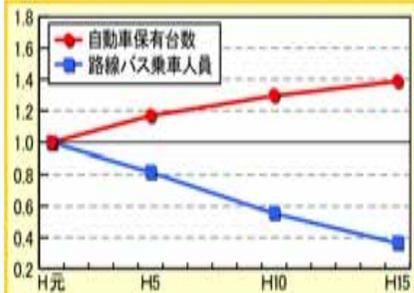
福山都市圏(福山市、笠岡市、井原市、尾道市、府中市、神辺町)の現状

- ・福山都市部への交通集中により、特に国道2号に渋滞が発生。
- ・公共交通の利用者減少が著しく、通勤時の自動車への依存率が高い。

対策事業(バイパス等)に長期を要するため、渋滞が著しい箇所について、ソフト施策が必要
年間を通したノーマイカーデーの取り組み

【福山都市圏の現状】

福山市に集中する渋滞発生箇所



【福山都市圏の自動車保有台数と路線バス乗車人数】

主要渋滞ポイント

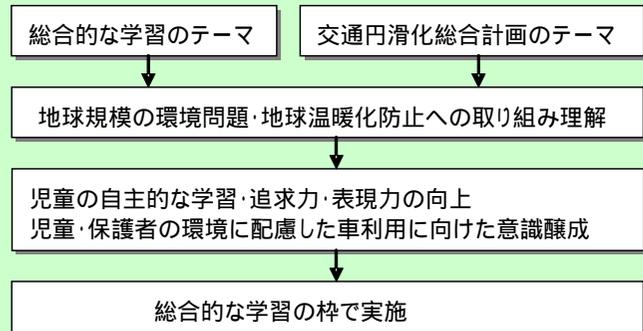
小学校で地球環境問題の学習を実施

小学校で地球環境問題の学習を行うことにより、公共的問題に配慮し、主体的に行動できる人間への育成を目指します。また、その家族に協力をお願いすることにより、自主的な交通行動変容を促すキッカケとしたコミュニケーションを行い、運動参加者拡大に結びつけます。



小学校での学習状況

【環境保全に対する共通の目的】



【学校教育の重要性】

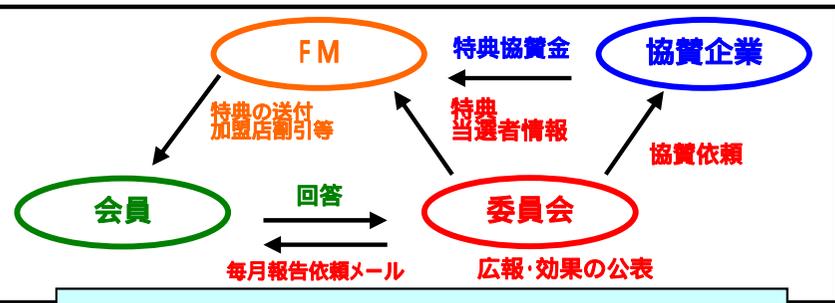
- 児童から家庭へ
- 地域ぐるみの取り組み
- 環境問題意識の醸成
- 次世代へ継承

通年型ノーマイカーデー Bingo - EST

地域団体(コミュニティFM局)と連携し

メリットとコミュニケーションを持つ仕組みを開始します。

短期間でのノーマイカーデーにより、渋滞緩和等の効果を確認できましたが、継続意識が低下し通年的に効果を得る取り組みとして、月に1回行う会員制のノーマイカーデー運動を実施します。



【通年型ノーマイカーデーを定着させる仕組み】

取り組み

施策への参加を促すキッカケを与えるため、行動意図、実行意図に配慮し、段階的かつ戦略的に広報を展開していきます。

月1回参加しメールで報告すると、特典を与える仕組みを構築し、会員の参加意欲の向上を図ります。

また、マイカー利用時には、エコドライブ、高速道路利用の促進運動をあわせて実施します。



ラッピングバス(8月10日より実施)



Bingo-EST広告

【高松】～あなたにもできること、始めませんか？～地球にエーことエコカーライフ

取り組み概要

実施主体: 国土交通省四国地方整備局香川河川国道事務所

対象地域: 高松都市圏

取り組みの柱

- 適切な経路への誘導
- TDM施策の推進
- 路上工事の適正化
- 省エネ交通行動の促進



現 状

香川県の温室効果ガスの種類別割合は、**二酸化炭素が約9.6%**

二酸化炭素の部門別排出量では、**運輸部門が大幅増加**
・過去13年間(H2 H15)で、約2.6%も増加

香川県の1人あたり二酸化炭素排出量は全国平均より約17%少ないが、**運輸部門は全国平均より約4.3%も多い**

このうち、**約8割は、自動車からの排出**
・[自動車] 80.3%、[鉄道] 1.1%、[船舶] 16.4%、[航空] 2.2%

自動車からの二酸化炭素排出は、**家庭でも仕事でも排出量が多い**
・[家庭内の排出量に占める割合] 38.2%(家庭生活に次ぎ2番目)
・[仕事場の排出量に占める割合] 24.2%(工場等に次ぎ2番目)

(出典: 香川県地球温暖化対策推進計画)

課 題

二酸化炭素排出量を削減するためには、

高速道路の利用や自転車の活用など、**県民一人ひとりの意識改革が重要**です。
自動車の使い方、道路の使い方を見直す、**きっかけづくりが必要です。**

取り組み内容

適切な経路への誘導

高速道路の利用促進

- ETC割引制度の周知による高速道路の利用促進を図ります。
- ETC利用者の拡大による高速道路の利用促進を図ります。

高速バスの利用促進

- 高速バス停整備による公共交通の利用促進を図ります。

TDM施策の推進

公共交通の利用促進

- バスロケーションシステムによる路線バスの位置情報を提供します。

P & Rの推進

- P & R用駐車場の利用促進を図ります。

路上工事の適正化

路上工事による渋滞の縮減

- 工事の実施方法、時間帯変更、時間短縮等により、渋滞を抑制します。

路上工事の周知・情報提供

- 整備局HPで工事実施場所、期間、内容等の情報を提供します。

省エネ交通行動の促進

エコドライブの促進

- イベントやラジオ放送を通じてエコドライブを普及させます。

自転車利用の促進

- 自転車利用に関するフォーラムやサイクリングを開催します。

かしこい車の使い方の普及

- 一般ドライバーを対象に「エコカーライフ度診断」を実施し、日頃の環境や健康を考えた交通行動についてアドバイスします。

【福岡】環境にやさしい交通まちづくり

実施主体

実施主体：国土交通省九州地方整備局福岡国道事務所
対象地域：福岡市内



取組みの背景

福岡市都心部における道路混雑

福岡都心部への自動車集中による渋滞問題は依然として深刻。

道路混雑による環境負荷の増大

都心部や市街地内の道路混雑により、CO₂の排出が増加傾向。

課題に対応した取組み

福岡市内の道路混雑や環境負荷軽減のため、従来より行われているハード整備のみならず、次の課題に対応した取組みが重要です。

エコドライブの推進

地下鉄・バスの利用促進

高速道路の利用促進

取組みの内容

エコドライブの推進

市街地内でのエコドライブ推進・普及に向けて、自動車利用者ひとり一人ができる取組みの1つとしてPRを実施します。

- ・アイドリングストップ
- ・タイヤの空気圧チェック
- ・不要な荷物を積まない
- ・急加速 / 急発進をしない
- ・エンジブレーキの利用
- ・エアコンの利用を控える
- ・計画的なドライブ 等

地下鉄・バスの利用促進

公共交通の利便性が高いにも関わらず自動車利用の多い福岡市城南区において、転入者を対象とした取組みを実施します。
都心部へ向かう交通手段としてバスの利便性に関するきめ細かな情報をオーダーメイドで作成して提供することにより、自家用車からの自主的な転換を促します。

<きめ細かな情報提供グッズ>



高速道路の利用促進

一般国道等における交通混雑、沿道環境の改善を図るため、福岡高速道路の料金施策実験を実施し、施策の効果・影響の調査と検証を実施します。

【那覇】那覇都市圏CO2削減キャンペーン

重点地区

那覇都市圏：那覇市、浦添市、宜野湾市、南風原町、豊見城市、西原町

実施主体

那覇都市圏渋滞対策WG

[沖縄総合事務局 / 沖縄県 / 沖縄県警察本部 / 西日本高速道路(株) / 那覇市 / 浦添市 / 宜野湾市 / 南風原町 / 豊見城市 / 西原町]

概要(背景・目的)

沖縄県は、3大都市圏以外を除くと全国ワースト1位の渋滞の多い状況にあり、その中でも那覇都市圏の渋滞が集中しています。また、それに伴うCO2排出量についても増加傾向にあります。

そこで、これまでの道路整備などの取り組みだけでなく、県民と道路管理者が連携した取組として、以下の取り組みを実施します。

取り組み内容

エコドライブ

国道沿いでプラカードによる呼びかけ等の実施によりエコドライブの促進・普及を図ります。

通勤者を対象とした公共交通利用促進キャンペーン

公共交通利用による経済面等の効果についてPRし、通勤手段を自家用車から公共交通へ転換を図ります。

バスレーン活用パーク・アンド・バスライド

パーク・アンド・バスライドの実施により、那覇市中心部への通勤自家用車数の減少を図ります。

レンタサイクル

パーク・アンド・サイクルライド駐車場を設置し、新都心内の回遊車両を自転車交通への転換を図ります。

タウンミーティング

CO2削減の取り組みについて、県民の皆様と道路管理者とで意見交換を行い、理解と協力を広げます。

喜舎場スマートIC社会実験

沖縄自動車道喜舎場BSにてスマートIC社会実験を行い、高速道路の利用促進を図ります。(実施主体：喜舎場スマートIC地区協議会)

